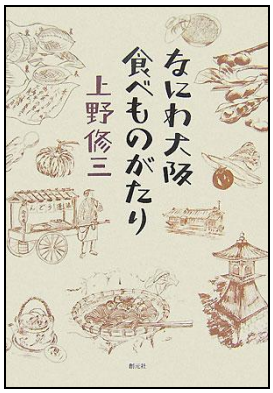
月刊 あなたにこの本を！　平成 20 年 3 月号

大阪市立図書館　「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（　）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

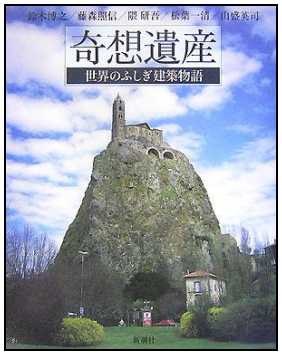


なにわ大阪食べものがたり

上野修三　著
創元社　1890 円（0011498369）

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

一流割烹(かっぽう)の元料理人である著者が丹念に書き上げた、大阪の食べもの歳時記。野菜、魚介、乾物などの様々な食材を取り上げ、年中行事、食べ方など、食材にまつわる話をやわらかな大阪弁で語る。鱧(はも)ひとつとっても、鱧ちり、玉ねぎと煮る鱧なべ、鱧皮鱠(はもかわなます)など、多様な料理法が紹介され、思わず食べたくなってしまう。気さくな語り口の中にも昔ながらの大阪の食文化を途絶えさせたくないという著者の熱い思いが伝わってくる。　〔519.8〕



奇想遺産　－世界のふしぎ建築物語－

鈴木博之、藤森照信、隈 研吾、
松葉一清、山盛英司　著
新潮社　2940 円（0011499331）

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

建築と美術の専門家たちが、奇想天外な姿で異彩を放つ建築物を、美しい写真とともに解説するのが本書だ。樹木に巻きつかれたカンボジアの遺跡タ・プロームや、野原にそびえる巨大岩の上に建つフランスのル・ピュイ・アン・ブレ教会。日本からは、おなじみの通天閣や太陽の塔など、古今東西の「奇想」建築群から 77 件を紹介する。世界中から選りすぐった「とっておき」を見る旅に出たくなる。新聞連載の単行本化。　〔520.2〕

絶対弱者　－孤立する若者たち－

三浦宏文、渋井哲也　共著
長崎出版　1680 円（0011533628）

ジャンル ： 現代社会を見つめる

根拠のない自信はあるが、実力が伴わず周囲から孤立する若者たちが近年増えてきている。予備校講師である三浦氏、ジャーナリストの渋井氏は、彼らを弱者になりきれない弱者として「絶対弱者」と名づけた。以前から存在していた「絶対弱者」は、現代の競争社会において顕著化してきている。社会から脱落していく彼らとどう向き合うべきなのか？　二人の著者が、それぞれの現場での生々しい事例をもとに新しい若者論を提示する。　〔367.7〕

バチカン　ーローマ法王庁は、いまー

郷　富佐子　著
岩波書店　777円（0011519859）

ジャンル ： 現代社会を見つめる

カトリック教会の総本山であり、世界一小さな国であるバチカン。その頂点に立つ法王の言動は常に世界中の注目を集める。本書は、新聞社のローマ特派員であった著者が、保守から協調へと変化しつつあるバチカンの内側を取材したリポートだ。9･11米同時多発テロ事件以降、法王がトルコを訪問するなど、イスラム世界との緊張を緩和し、他宗教との対話を進めているバチカンの現状をつづる。新旧二人の法王の好対照な素顔も紹介されていて興味深い。　〔198.2〕

白洲次郎の青春

白洲信哉　著
幻冬舎　1995円（0011485353）

ジャンル ： 生き方･考え方に学ぶ

吉田茂元首相の右腕として活躍した白洲次郎の青春時代の足跡を、その孫である著者がたどる。祖父が英国留学中に車でヨーロッパを旅した際のアルバムを手がかりに、その行程を著者はなぞっていく。旅の各所でアルバムと同じ風景を探し当て、写真を撮るなかで、80年前に同じ場所に立った祖父に思いをはせる。また英国の地ではぐくまれた彼のこだわりの数々も紹介され、白洲次郎の原点がみえてくる。雑誌連載に加筆修正。　〔Bシラス〕

新しい太陽系

渡部潤一　著
新潮社　903 円（0011536347）

ジャンル ： 知識･教養を深める

2006 年の夏、太陽系9つ目の惑星である冥王星が惑星から準惑星に降格された。本書では、冥王星降格を決定した惑星定義委員会のメンバーの一人である著者が、その理由をわかりやすく解説する。また各章ごとに、それぞれの天体が写真や最新の調査結果とともに紹介されていて、太陽系の「いま」を知ることができる。惑星探査や観測技術の発達によって、より鮮明になった太陽系を理解するための新しい入門書。　〔445〕

アキバをプロデュース　ー再開発プロジェクト5年間の軌跡ー

妹尾堅一郎　著
アスキー　789円（0011532650）

ジャンル ： 現代社会を見つめる

日本の技術力やサブカルチャーの集積地であり、変化し続ける街「アキバ」。大学教授である著者が、秋葉原再開発の産学連携プロデューサーとして、2006年に駅前に拠点施設を立ち上げた。秋葉原の多様な魅力を分析した上で、新産業創出のしかけ作りについて、実践事例とともに語る。著者がこれまでの経験や知識を活かして、自治体や企業、地元の橋渡しとなって取り組む様子がいきいきと描かれており、産学連携と街づくりの指南書としても興味深い。　〔519.8〕

日本の職人技　ー松井のバット、藍ちゃんのゴルフクラブをつくる男たちー

永峰英太郎　著
アスキー　820 円（0011533359）

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

卓球の福原愛選手が望むのは、軽くて硬いラケット。それに見合う木はせいぜい 1000 本に1本だと、彼女のラケットを作る千原さんは語る。本書は、高い技術力をもった職人と商品開発者 10 人のインタビューをまとめたもの。一流選手は道具に対しても妥協せず、時には無謀とも言える注文を出す。その要求に向き合う匠の姿からは、もの作りのプロとしての矜持(きょうじ)が伝わってくる。道具をめぐるアスリートと職人との戦いに心を打たれる。　〔589〕